

ジェンダーの平等を目指して

「SDGs達成に向けた市民社会の動き」



さまざまな立場の専門家ら約50人が集った

「持続可能な開発目標（SDGs）」が、昨年9月にニューヨークの国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において採択されました。これは人間や地球の繁栄のため、2030年までに達成すべき17の目標を掲げたものです。これを受け、日本政府はSDGs達成に向けた指針の策定を進めています。ここでは、国内でのSDGs達成に向けた動きや、10月19日に保健会館新館（東京都新宿区）で開催された有識者や政府関係者などの対話フォーラムの様子をご紹介します。

（編集部）

昨年9月に国連で採択された2030年までの「持続可能な開発目標（SDGs）」のこのSDGs達成に向けた動きや、10月19日に保健会館新館（東京都新宿区）で開催された有識者や政府関係者などの対話フォーラムの様子をご紹介します。

このネットワークにおいて、ジョイセフの代表理事・石井澄江は日本女性監視機構（JAWW）の代表・織田由紀子さんと共にジェンダー分野の世話人となりました。10月19日には、政府関係者や有識者などが参加する対話フォーラムを開

創生・地域課題⑨社会的責任⑩保健⑪教育⑫など活動をしている団体です。世界経済フォーラムが10月に発表した16年のジェンダー・ギャップ指数で、144か国中111位に沈んだ日本。SDGsに掲げられた「ジェンダー平等の達成」を国内でも進めるために、多くの方々と連携していきたいと思っています。



JAPAN CIVIL SOCIETY
NETWORK ON
SDGs
SDGs 市民社会ネットワーク

途上国開発③障害④ジェンダー⑤防災⑥国内貧困・格差⑦ユニ⑧地方創生・地域課題⑨社会的責任⑩保健⑪教育⑫など活動をしている団体です。世界経済フォーラムが10月に発表した16年のジェンダー・ギャップ指数で、144か国中111位に沈んだ日本。SDGsに掲げられた「ジェンダー平等の達成」を国内でも進めるために、多くの方々と連携していきたいと思っています。

ピア研が厚生労働大臣団体部門優秀賞

第5回「健康寿命をのばそう！アワード」（母子保健分野）

厚生労働省は11月14日、第5回「健康寿命をのばそう！アワード」の表彰式を丸ビルホール（東京都千代田区）で開催した。前回から表彰が催された母子保健分野では、企業や団体、自治体から合わせて10団体が表彰された（上位のみ表）。

ピアカウンセリング・



賞状を受け取るピア研の高村寿子代表

ピアエデュケーションとは、仲間（ピア）から仲間へ、共感と共に相手と寄り添いながら行う健康教育手法で、

受賞した上位4団体

【厚生労働大臣 最優秀賞】

○特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパン
「訪問型子育て支援ホームスタートで、すべての子どもに幸せなスタートを」

【厚生労働大臣 優秀賞】

《企業部門》○アサヒグループ食品株式会社
「和光堂子育てサポート活動」
《団体部門》○日本ピアカウンセリング・ピアエデュケーション研究会
「若者が思春期の若者を支えるピアカウンセリング活動の取り組み」
《自治体部門》○比企郡吉見町（埼玉県）
「町ぐるみですすめた！健口（けんこう）づくり～吉見町〇8（よいは）の会との10年間の歩み～」

国連人口基金（UNFPA）は10月20日、「世界人口白書2016」を発表した。本年は「10歳の少女の今が私たちの未来を決める」をテーマとし、現在10歳の少女への投資という観点から、開発途上国の開発課題について提言する。現在世界には、強制結婚や児童労働、性器切除といった、女性の健康と権利を侵害する慣習の残る地域がある。国連は昨年、2030年に向けて、世界の貧困や不平等の解決のため、持続可能な開発目標（SDGs）を採択した。白書では、こうした慣習は目標達成を脅かすと警告している。

10歳の少女の今が私たちの未来を決める

国連人口基金「世界人口白書2016」発表

10歳という年齢は、思春期が近づき、その後の人生に影響する極めて重要な年齢であると白書は位置付ける。彼女たちに結婚・育児をさせるのではなく、奨学金などの投資をし、後期中等教育（日本の高等学校・高等専門学校に当たる）を受けさせることができれば、その後の賃金は、結婚した場合に比べて3倍にもなるという。

そしてこうした投資は、本人の生活レベルを向上させるだけでなく、国民全体の所得増加と人口ボーナスによって、国全体の経済も発展させる。10歳の少女全てが中等教育まで終えることができた場合、開発途上国全体の利益は、15年間で210億米ドルにもなるという白書は解説している。

Seminar Information

第26回 お母さんと子どもの元気セミナー 妊娠・出産における外国人女性への支援の方法

日本に住む外国人の増加から、指導者の方々におかれましては妊娠、出産、子育て支援などで外国人女性と関わる機会が多くなっていることと思います。そのため、対応に困ったケースやトラブル等の経験をもちの方や、今後の対応に不安のある方は意外と多いのではないのでしょうか。そこで本セミナーでは、「妊娠・出産における外国人女性への支援の方法」をテーマに、母親が育児にスムーズに移行できるように「妊娠期から出産後の支援」について、支援者としてのようなことに留意して支援をするのか、また、母親が支援で困っていることは何なのかなど、現状と課題などを交えて、それらのポイントを分かりやすく解説します。今後の対応に役立つ内容ですので、ぜひご参加ください。

【日時】1月21日(土)10時30分～12時
【会場】フォーラムミカサエ
【受講料】5千円＋税
【講師】青木美紀子（聖路加国際大学／聖路加国際病院）、小野正恵（東京通信病院）
【対象者】保健師・助産師・看護師・保育士など
【定員】60人（先着順）
※同日の午後には「第5回遺伝がわかるセミナー」が開催されます。併せてのご参加をお勧めいたします。

第5回 遺伝がわかるセミナー

近年、妊娠・出産の高年齢化や遺伝子の検査の普及などから、遺伝への意識や関心が社会的にも高まってきており「遺伝」がより身近に感じられるようになってきております。そのため、行政や医療機関においては問い合わせや相談などが寄せられていることと思います。そこで本セミナーでは、遺伝の基本的な知識を学んでいただくほか、午前に行われる「第26回お母さんと子どもの元気セミナー（右記参照）」の内容に関連付けて、遺伝に

関する「国や文化による違い」を学んでいただきます。今後は外国人への支援や対応が増えることと思いますが、学ぶ機会がなかなかないテーマです。突然の相談や思わぬケースにも適切な対応ができるよう、この機会にぜひご参加いただき、日頃の業務にお役立てください。たくさんのご参加をお待ちしております。

【日時】1月21日(土)13時～16時10分
【会場】フォーラムミカサエ
コ（東京都千代田区）
【受講料】5千円＋税
【講師】青木美紀子（聖路加国際大学／聖路加国際病院）、小野正恵（東京通信病院）
【対象者】保健師・助産師・看護師・保育士など
【定員】60人（先着順）
※同日の午前には「第26回お母さんと子どもの元気セミナー」が「妊娠・出産における外国人女性への支援の方法」のテーマで開催されます。併せてのご参加をお勧めいたします。

本会主催セミナー
のお問い合わせは

TEL
03(3269)4785

FAX
03(3267)2658

かんたん!

詳しい情報も

本会HPから
WEB申し込み
できます。

JFPA セミナー

検索



スマートフォン
からは
こちら!!

予防接種の基本的な知識と最新情報

第47回 母子保健指導員研修会

本会母子保健指導部が主催する第467回母子保健指導員研修会が、10月11日にTKP市ヶ谷カンファレンスセンター（東京都新宿区）で開催された。今回は「予防接種の基本的な知識と最新情報」の題で、岡部信彦氏（川崎市健康安全研究所所長）が講義を行った。

予防接種の基本知識

「予防接種は、現在の感染症拡大を防ぐのみならず、母子感染を防ぎ、将来の世代の健康も守る。後者の典型例が風疹ワクチンだ。妊婦が風疹に感染した場合は、母種・ワクチン分科会長も軽いつては、防接種の意義について述べた。



岡部信彦氏

「予防接種は、現在の感染症拡大を防ぐのみならず、母子感染を防ぎ、将来の世代の健康も守る。後者の典型例が風疹ワクチンだ。妊婦が風疹に感染した場合は、母種・ワクチン分科会長も軽いつては、防接種の意義について述べた。

「子孫は生まれながらに、生涯にわたるハンディを負ったり、短命になったりしてしまう」

「B型肝炎ワクチン」また、岡部氏はこの10月から定期接種化されたB型肝炎ワクチンについて、「B型肝炎ワクチンも母子感染を防ぐものだが、これは赤ちゃんの急性B型肝炎を防ぐのではなく、成長後に肝硬変、肝臓がんとなることを予防するものだ。標準的には、生後2か月から12か月までに接種する。海外では出生直後に接種するが、日本では出生直後は戸籍がなく、記録・管理が難しくなるほか、出生直後はさまざまなトラブルが多いため、安定し始める2か月からとすることになった。ただし、キャリアの近親者がいるなど、感染リスクが高い場合は、直後の接種が可能になる。母親がキャリアの場合

母性衛生に携わる喜び

第57回 日本母性衛生学会開催

10月14・15日、第57回日本母性衛生学会総会ならびに学術集会（会長＝正岡直樹東京女子医科大学八千代医療センター母体胎児科・婦人科教授）が「母性衛生に携わる喜び〜自負と矜持〜」をテーマに開催され、2千人を超える関係者が集った。特別講演ではシンガーソングライターで作家のさだまさし氏が登壇。自身の家族の話や、東日本大震災の被災者にとって「歌」が役に立つのかを迷いながらも、自分できけることは歌うこと、人々を笑顔にする力を信じて歌い続けていくことを、皆が知るヒット曲を織り交ぜながら語り、聴衆の笑いと涙を誘った。

「夫婦のセックスの頻度」「夫と妻の満足度」「セックスの有無と結婚の満足度との関係」「婚外のセックス」「マスターベーション」

「性」の問題を「生」と結び付けて正面から考えるために、本書刊行の意義は実に大きいと思う。とはいえ本書に解答があるわけではない。「問題」を分類し、感情の面から、知的面から迎えた。そしてそのう形でセクシュアリティ研究会（代表＝荒木乳根子）のメンバーがな社会問題として注目を浴びつつある。性に

セックスレス時代の中高年「性」白書

日本性科学会セクシュアリティ研究会 編 株式会社harunosora 荒木乳根子・石田雅巳・大川玲子・金子和子・堀口貞夫・堀口雅子 著

本書は関東圏に在住する40〜79歳の男女を対象にした中高年の性生活に関する調査をまとめたものである。有配偶者を対象に行われた前回調査（2000年）と今回（12年）の比較は極めて興味深い。

その面白さは手に取って読んでいただく以外にはないが、調べられた項目のいくつかを紹介しておく。

「性」の頻度」「性欲の加齢変化」「緩む規範意識」など含めて21項目にわたっており、中には単身者（配偶者を失ったり、シングルで



シンポジウムの様子

来年度は10月6〜7日、神戸市で開催される。

2017年版「あなたと赤ちゃんの健康」

無料配布の受付終了、来年2月発送



冊子の発送は、来年2月の予定です。お申し込みいただきました市区町村、医療機関におかれましては、どうぞいましばらくお待ちください。

「イクボス」として職場改革に挑戦しよう」と壇上から発言するものの、現実とのギャップに戸惑う姿が目立った。とはいえ、現状を変えるための第一歩を踏み出す勇氣が必要だということ

「イクボス」として職場改革に挑戦しよう」と壇上から発言するものの、現実とのギャップに戸惑う姿が目立った。とはいえ、現状を変えるための第一歩を踏み出す勇氣が必要だということ

「イクボス」として職場改革に挑戦しよう」と壇上から発言するものの、現実とのギャップに戸惑う姿が目立った。とはいえ、現状を変えるための第一歩を踏み出す勇氣が必要だということ

Seminar Information

行動変容実践のための保健指導者養成セミナー

本セミナーは健康づくり施策を基本から学べる「ベーシックコース」と、実践的な保健指導技術を学ぶ「スキルアップコース」があります。ベーシックコースは厚生労働科学特別研究の研修教材を基にプログラムを企画しており、看護師、歯科医師、薬剤師、助産師、歯科衛生士、栄養士、准看護師の方は特定保健指導で「食生活改善指導担当者」として活躍できます。8月に開催された大阪会場受講者からは「とても内容が濃く、すぐに生かせる内容で本当によかった」といった声など、分かりやすい指導ポイントの説明とロールプレイによる実践力アップで好評をいただきました。ぜひお申し込みください。

【開催日】ベーシック／2月2日（木）5日（日）、スキルアップ／2月2日（木）4日（土）

【会場】東陽セントラルビルホール（東京都江東区）

【講師】岡山明、網谷陽子、亀ヶ谷律子、辻恵子（生活習慣病予防研究センター）、浅山敬（帝京大学公衆衛生学講座）、奥田奈賀子（人間総合科学大学健康栄養学科）、栗林徹（岩手大学保健体育科）、中村幸志（北海道大学大学院医学研究科）

への第一歩

本会や公益財団法人ジョイセフなど保健会館グループの創立者である國井長次郎（1916～96年）。本年はその生誕100周年であり、没後20年となります。この記念すべき年の瀬に、あらためて創立者の足跡と、國井が目指した人間的な家族計画について、英国・マンチェスター大学の保明綾氏にご寄稿をいただきました。（編集部）

生誕100周年

國井長次郎と日本家族計画協会

人口抑制のためでなく 人間的な家族計画を

國井長次郎といえは、日本家族計画協会と本紙の前身「家族計画」の生みの親。協会にとって、会の礎を築いた最重要人物です。

トとして立ち上げ、全世界に広めた大人物でもありました。國井は、戦後の日本や冷戦期の世界を席巻した「人口抑制のための家族計画」という考えを否定し、生涯を通じて民衆のレベルに立ちながら、寄生虫予防や栄養など民衆の健康を増進する公衆衛生にドッキングした家族計画事業を、「人間的な家族計画」として推進する

ことに邁進しました。しかし、そもそもなぜ國井は家族計画運動に参加したのでしょうか。どのような過程を踏んで日本家族計画協会（当初は日本家族計画普及会）設立について、さらに協会の設立における國井の役割について書いたもので

この記事を読まれた方が、ユーモアと人間味溢れる國井長次郎の人物を、書面から少しでも読み取ることができたならば、筆者は歴史家として大変うれしく思います。

経た結果、ようやく51年10月26日、受胎調節の普及が閣議了解事項として決定されました。

戦後日本と 政府主導の家族計画

家族計画を、生まれてくる子どもの数を制限する行為と捉えた場合、古くは徳川時代から、生活人口膨張を和らげる手段として植民地政策に力を入れていたことから、胎という形で

行われていたが、大正期になると、出産を制限することを「産児調節」「産児制限」などと呼び、運動としても盛り上がりを見せました。しかし、「家族計画」という言葉自体が日常的に使われ出したのは、実は戦後になった。戦後の日本では、後

景には人口問題がありましたが、戦前、日本政府は人口膨張を和らげる手段として植民地政策に力を入れていたことから、胎という形で

日本では、民間の家族計画普及活動が産児制限・産児調節運動と呼ばれ、盛んになるのは1920年代でしたが、戦前・戦中を通じて政府は産児制限運動に対して神経質な態度で接していました。

が議論していたような人口抑制ではなく、人工妊娠中絶数の減少にありました。

民間主導の家族計画運動

日本では、民間の家族計画普及活動が産児制限・産児調節運動と呼ばれ、盛んになるのは1920年代でしたが、戦前・戦中を通じて政府は産児制限運動に対して神経質な態度で接していました。

理由には、産児制限運動が、当時政府が目論んでいた社会主義・労働者運動と重なっていたことや、優生学者からの反対があったことなどでした。

しかし、戦後の民主主義を柱にした占領主導の政治改革により、戦前に抑圧されていた産児制限活動が、せきを切ったように一気に噴出し、50年代も中盤にさしかかろうとする頃、それぞれ各自に活動を展開していた家族計画の諸団体は全国的に団結する気運が高まってきました。

きつかけは、国際家族計画連盟主催の第5回国際家族計画会議の会場が東京に決定したことでした。それを境に、運動の中核者が手を取り合い、54年、第5回国際家族計画会議の企画運営を担当する団体として、さらに日本の家族計画運動を代表する団体として日本家族計画連盟を創立しまし

昭和40年代にもなると、運動として寄生虫予防を志した國井長次郎でし、たが、もともと國井は、家族計画とは全く縁のないところで活動していた。戦前には大学でフランス文学を専攻、卒業後は作家を目指していた。1945年、高知県の日本軍駐屯地で敗戦を迎えた國井は、将来を考えあぐねていたところ、同郷の先輩、杉山慈郎の誘いで、当時の中国で国民運動として実践されていた合作社運動を日本に紹介する活動に着手します。しかし、合作社運動は全国的な組織に発展して

國井長次郎と家族計画運動

た。國井長次郎が家族計画運動に足を踏み入れたのは、ちょうどその頃で

いくなど、合作社運動とは対照的に、寄生虫予防運動は大成を収めました。

しかし、成功の裏で、國井自身は、徐々に寄生虫予防活動に疑問を抱き始めます。

「寄生虫予防も社会的にはリッパな仕事ではある。しかし、私はこれらの将来、公衆衛生屋で終わるのか」

このような考えが國井の頭をもたげます。さらに、運動が功を奏して寄生虫の感染率が減少していること自体は喜ばしいことではあるが、それは運動自体の衰退、ひいては自分や職員の失職をも意味してはいないか。國井はそのようなことも考え始めます。その結果、國井は、53年頃から、次の事業を思案中の國井は、人口問題を論じた本に出会い、人口問題に取り掛かりたいと思ひ巡らすようになります。しかし具体的に事業をどう展開すればよいか分からず、厚生省で受胎調節を担当していた樋上貞男を訪ねました。この樋上との出会いが、國井を家族計画運動に導く引き金となります。

樋上は、國井との面談で、受胎調節は国策にこそなっているものの特に目立った結果を出しておらず、実際に成果を上げるには政府が進め

本会創立者・國井長次郎



戦後の日本では「家族計画」調節でした。紆余曲折を

た。しかし、戦後の民主主義を柱にした占領主導の政治改革により、戦前に抑圧されていた産児制限活動が、せきを切ったように一気に噴出し、50年代も中盤にさしかかろうとする頃、それぞれ各自に活動を展開していた家族計画の諸団体は全国的に団結する気運が高まってきました。

きつかけは、国際家族計画連盟主催の第5回国際家族計画会議の会場が東京に決定したことでした。それを境に、運動の中核者が手を取り合い、54年、第5回国際家族計画会議の企画運営を担当する団体として、さらに日本の家族計画運動を代表する団体として日本家族計画連盟を創立しまし

昭和40年代にもなると、運動として寄生虫予防を志した國井長次郎でし、たが、もともと國井は、家族計画とは全く縁のないところで活動していた。戦前には大学でフランス文学を専攻、卒業後は作家を目指していた。1945年、高知県の日本軍駐屯地で敗戦を迎えた國井は、将来を考えあぐねていたところ、同郷の先輩、杉山慈郎の誘いで、当時の中国で国民運動として実践されていた合作社運動を日本に紹介する活動に着手します。しかし、合作社運動は全国的な組織に発展して

た。國井長次郎が家族計画運動に足を踏み入れたのは、ちょうどその頃で

「人間的な家族計画」



1954年4月、コンドーム工場を視察（左3人目より近泰男、國井長次郎、加藤シヅエ、山口シヅエ）

ります。

國井は、53年後半から54年初旬にかけて、樋上や小沢の紹介で、前述の馬島

、加藤シヅエ、古屋芳雄など受胎調節に関

わりを持つ研究者や運動家らを訪ね、そこでも

らった資料を基に受胎調節について勉強しながら、國井を責

任者とする家族計画の普及を目

指した民間団体設立に全力を尽くして邁進して

いきます。

結果、54年4月18日、機関紙「家族計画」第1号発行とともに、後に日本家族計画協会となる日本家族計画普及会が発足したのです。

（中略）

普及会発足への設立準備、「家族計画」の編集を、ほとんど一人で、しかも寄生虫予防の仕事の合間を縫って遂行していきます。

「家族計画」の発行予定日は、前述した日本家族計画連盟の発会式が予定されている54年4月18日。ようやくその前日に刷り上がり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

話があり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

話があり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

話があり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

話があり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

話があり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

日本家族計画普及会と機関紙「家族計画」の第一歩

日本家族計画普及会も名称を日本家族計画協会に変え、すでに一人前の家族計画団体として歩んでいた1969年12月2日、國井は、会の設立当初を想い「夜明け前の若い機関車」という詩を書きました。以下はその一部分です。

行く先がどこになるのか
途中でエンコするの
息絶えて
冷くなるのか
機関手も車掌も 乗客
でが かいもくわかな
い

一九五四年四月
とくあす
オクタン価二五度の石炭

（中略）

ボロボロのピストンを気にするな
オクタン価二五度でも
こわがるな
ともかく勇氣をふるって
あの星雲の中に突走らん
だ
アイデアは走りながら考
えろ

子供たちのための
お母ちゃんのための
人間の永遠をつらぬいた
人間の永遠をつらぬいた
の
ヒューメン（人間的）な
家族計画を さがせ

結果、國井は、

普及会発足への設立準備、「家族計画」の編集を、ほとんど一人で、しかも寄生虫予防の仕事の合間を縫って遂行していきます。

「家族計画」の発行予定日は、前述した日本家族計画連盟の発会式が予定されている54年4月18日。ようやくその前日に刷り上がり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

話があり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。



1955年の第5回国際家族計画会議で演説するマーガレット・サンガー。村岡花子も通訳として列席した

國井のその後 ジョイセフと「人間的な家族計画」

設立当初は辛酸をなめ、若き特有の気合でもつてがむしやに家族計画分野に突入してはみたものの、最初から前途多難で不安要素はいっぱい、将来事業が波に乗るかどうかも全く分からな

い。発足当初の普及会は、一寸先は闇の状態を走る若い機関車そのものであったのだな、ということがよく分かる文

です。実際、國井の家族計画運動の第一歩は必ずしも順風満帆というわけではなかったようです。

アイデアは走りながら考えろ

子供たちのための
お母ちゃんのための
人間の永遠をつらぬいた
人間の永遠をつらぬいた
の
ヒューメン（人間的）な
家族計画を さがせ

結果、國井は、

普及会発足への設立準備、「家族計画」の編集を、ほとんど一人で、しかも寄生虫予防の仕事の合間を縫って遂行していきます。

「家族計画」の発行予定日は、前述した日本家族計画連盟の発会式が予定されている54年4月18日。ようやくその前日に刷り上がり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

話があり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

話があり、国際家族計

画連盟会長マーガレット・サンガーを迎えて虎の門会館で開催された発会式に、同志と一緒に会場で「家族計画」第1号を配布します。

しかし、部外者が会場でビラまきをしてはならないと言われ、会場から追い出されてしまいま

す。実際には、理事である加藤シヅエに事前に内

計画を通じた対外援助の必要性を説いてまわったが、これにより日

本における家族計画対

外援助の動きが活発化した

ことになってしまいま

す。

國井は、「喜びと共に

屈辱もあじわった」この

日を、日本家族計画普及

会の設立日としました。

國井は、この一連の動

きを支えた中心人物でし

た。ドレイパー来日を仕

掛けたのは國井であり、

来日中ドレイパーは、保

健会館の國井の事務所を

拠点として活動しまし

た。

さらに、ドレイパーの

帰国後、國井は古屋、加

藤と協力し、人口・家族計

画の国際協力団体をつく

ることに尽力します。

その結果、68年4月22

日、会長・岸信介、理事

長・古屋芳雄、顧問・加

藤シヅエ、常任理事・山

地一寿、國井長次郎とい

う、そうそうたる顔ぶれ

で、家族計画国際協力団

体が設立したのです。

家族計画国際協力団体

國井は、戦後一貫して家

族計画が人口抑制の手段

として利用されることに

批判の目を向けていまし

た。経済的な視点に基づ

く人口抑制論は、一方的

なトップダウン方式でも

って避妊具をばらまくよ

うな、民衆を無視した活

動につながる」とし、真の

家族計画普及事業とは、

母子の健康や一家の幸せ

を最終目標として据え、

常に民衆に寄り添ったも

のでなくてはならない、

と事あるごとに説いてい

ました。「人間的な家族

計画」は、國井が普及会

設立当時から一貫して温

めてきた理念だったので

す。

家族計画を包括的な保

健活動の一部として捉え

た國井の家族計画論は、

アルマアタ宣言を採択

し、母子保健を含むブラ

イマリー・ヘルスケアを

推奨していた当時の国際

社会で広く受け入れられ

ます。

結果、国連人口基金から



1954年4月18日に発行された機関紙「家族計画」の第1号

結果、國連人口基金から

冊子を執筆するよう

依頼されるまでに至

ります。84年、晴れて

刊行されたその小冊

子の題名は、その名

も「人間的な家族計

画」家族計画と保健

の統合」でした。

國井にとつての日

本家族計画協会設立

とは、まさしく、

「人間的な家族計

画」普及への長い道

のりの、その第一歩

だったのです。



特定領域編⑨
シリーズ

遺伝相談

筋ジストロフィーとロフィーの遺伝力は、骨格筋に変性と壊死 ウンセリングに起因して、筋力低下が起る疾患を総称しています。この中には多くの種類が含まれますが、いずれも骨格筋の構成成分である主要なタンパク質をつくる指令を出す設計図である、遺伝子の変化によって生じます。

頻度や主な症状、発症年齢、遺伝形式は型によって異なります。代表的な筋ジストロフィーの一つであるデュシェンヌ型筋ジストロフィーの原因遺伝子が、1988年に発見されてから現在に至るまで、40種類以上の遺伝子が分かってきています。

この稿では、筋ジスト

筋ジストロフィーの遺伝

東京女子医科大学附属遺伝子医療センター 浦野真理・斎藤加代子

情報も有用になります。相談が多い主な病型には以下のようなものがあります。

わが国で一番多い筋ジストロフィーが、ジストロフィン異常症(デュシェンヌ型・ベッカー型筋ジストロフィー)です。近位筋優位な筋力低下を示します。男児3500人に1人の割合で患者さんがいます。X連鎖性遺伝形式をとります。

先天型筋ジストロフィーでは、福山型筋ジストロフィー、Walker-Warburg 症候群、Muscle-eye-brain 病などがあり、ほとんどが常染色体劣性遺伝を示します。先天性筋ジストロフィーの中では福山型筋ジストロフィー(muscular dystrophy)、

●遺伝力カウンセリ
ングの相談内容

相談内容では、①症状を有する方の遺伝学的検査による診断②次のお子さんについての相談③発症していない方が自分に遺伝しているかどうか、例えば親や兄弟姉妹に患者さんがおり、自分が発症する可能性を知りたいなどが主なものです。

子が特定されていれば、保因者診断や出生前診断あるいは発症前診断が技術的に可能な型もあります。

ただ、遺伝学的検査を行うタイミングや実施するか否かは受診者の状況、家族関係によって違うため、十分に話し合うことが大切になります。

例えば、デュシェンヌ型筋ジストロフィー保因者の可能性がある、症状を持たない未成年女性の場合には、すぐに検査をするとは限りません。遺伝学的検査の時期は、疾患について理解が得られ、保因者診断について自己決定できる成人期前後に遺伝力カウンセリ

て考えていく姿勢が望ましいと考えられています。

妊娠中のおさんが罹っているかどうか出生前診断が可能な筋ジストロフィーもあります。疾患が該当であるかどうか、また検査が可能かどうか遺伝力カウンセリを受けるとよいでしょう。

また、成人期に発症するような筋ジストロフィーでは、両親あるいは同胞に患者さんがいて、自分にも遺伝しているかどうかを発症前に調べたいというところで相談に来ることがあります。

数回の遺伝力カウンセリを経た上で、発症前診断をすることが本場に必要かどうかを決めていきます。

出生前診断と同様に、陽性の結果を得た場合が、常染色体劣性疾患であれば、4分の1(25%)で罹患児の可能性が得たい、という気持ちがあるが背景にあって来談し

すが、発症前診断の対象となるような筋ジストロフィーは常染色体優性遺伝形式が多く、両親のどちらかが罹患

0歳児の不慮の事故死は、5年間で502件。このうちの8割が窒息での死亡となっており、中でも就寝時の窒息が最も多く、不慮の事故死全体の32%を占めている。

同庁は0歳児の就寝時窒息事故防止のポイントとして①大人用ベッドではなくベビーベッドを使用②軽い掛け布団、子ども用の固めの枕を使用③顔の近くに口や鼻を覆う物などを置かない④子ども

職域保健の現場から

32

文京学院大学保健医療技術学部看護学科
准教授

市川 香織

◆現代女性の育児と仕事

産前産後を支援する専門職としては、働く女性たちが仕事でも輝く一方、自身の妊娠・出産・産後を楽しんでもらいたい、子育ての喜びを知り、家族との関係性も深めてほしいと願っています。

現在の妊娠、出産、子育てを取り巻く環境を働き、夫共働きが当たり前の女性視点から捉え、職域保健と地域保健で連

特に女性にとっては、いったん辞めてしまうと、非正規雇用、不安定な収入になる可能性が高まるため、結婚・出産を先延ばしにし、自身のキャリアはある程度積みたという思いも強くなっています。

もちろん、「産みたいときに産む」「キャリアを積んで自己実現を目指す」ことは悪いことではないですし、頑張る女性

を応援したい気持ちには大いにあります。ただ、そのことにより高齡初産になれば、健康面でのリスクは高まりますし、産後の体力回復にも時間がかかること、実父母や義父

◆職場の母性保護制度
男性の休暇の取り方

保健の立場からは、まずは心身ともに正常に妊娠期を過ごし、産後の計画(母体のケアや支援の体制)を妊娠中から家族みんなで立てておいてほしいのですが、なかなかそこには目が向きません。

特に、産後については自分の体はすぐに回復

し、出産してしまえば妊娠前の状態に戻れると思

職場における母性保護の観点では、パートナ

りから自宅に戻る日からの数日間です。数は少ないですが、実父母などの「孫育て休暇」が導入される企業も出てきました。

一方で、家族も含め利用でき

体的な疲労がたまると思

産前産後は人とのつながりを実感できる時期でもあります。自分自身のあり方を考え、家族をつくり、子育てを通して地域社会と関わりを持つて生活していく。子育てしやすい環境は生活も仕事もしやすい環境につながることでしょう。

産前産後の支援を充実させ、働く女性が輝き続けられる地域づくり、職場づくりをしていきたいですね。

本連載ではこれまでの連続2回、職域における妊娠や出産、育児を取り巻く状況について寄稿をいただきました。3回目となる今号では、女性の産前産後ケアに詳しい市川香織先生に、働く女性の現状と支援について解説をいただきましたので、ご紹介します。

(編集部)

女性たちが最も気になるのは、育児と仕事の両立のことにより高齡初産になれば、健康面でのリスクは高まりますし、産後の体力回復にも時間がかかること、実父母や義父

職場における母性保護の観点では、パートナ

りから自宅に戻る日からの数日間です。数は少ないですが、実父母などの「孫育て休暇」が導入される企業も出てきました。

一方で、家族も含め利用でき

体的な疲労がたまると思

産前産後は人とのつながりを実感できる時期でもあります。自分自身のあり方を考え、家族をつくり、子育てを通して地域社会と関わりを持つて生活していく。子育てしやすい環境は生活も仕事もしやすい環境につながることでしょう。

産前産後の支援を充実させ、働く女性が輝き続けられる地域づくり、職場づくりをしていきたいですね。

産前産後は人とのつながりを実感できる時期でもあります。自分自身のあり方を考え、家族をつくり、子育てを通して地域社会と関わりを持つて生活していく。子育てしやすい環境は生活も仕事もしやすい環境につながることでしょう。

死亡事故 窒息が8割

0歳児の就寝時に注意

消費者庁は、子どもの死亡事故について人口動態調査を分析したところ、2010〜14年までの5年間で、0歳児の就寝時の窒息死亡事故が160件以上と発表。窒息事故への注意喚起を行っている。

0歳児の不慮の事故死は、5年間で502件。このうちの8割が窒息での死亡となっており、中でも就寝時の窒息が最も多く、不慮の事故死全体の32%を占めている。

同庁は0歳児の就寝時窒息事故防止のポイントとして①大人用ベッドではなくベビーベッドを使用②軽い掛け布団、子ども用の固めの枕を使用③顔の近くに口や鼻を覆う物などを置かない④子ども

まう隙間をなくす⑤1歳になるまではあおむけ寝⑥添い寝時の圧迫への注意を紹介している。

海外情報クリップ

◆米国と日本の相違

イタリヤ・ミラノ大学の疫学研究グループの調査から、2002～12年の10年間で卵巣がんの死亡率(女子人口10万人当たりの死亡者数)はEUで約10%、米国で約16%低下したことが分かりました。この調査は、世界保健機関(WHO)の死亡統計を使用して世界47か国と比較、さらに年齢層別に解析しました。その

卵巣がん死亡率とピルの使用

中で注目されたのが、米国と日本の違いです。米国の影響で患者は多いが、早くからピルを導入しているのです。予防効果が表れてきている。実際、ピルを最初に使用し始めた70歳代の低下率も大きい。一方、日本人はリスクの低い体型や食習慣があるが、ピルの普及は極めて低く、ピルの予防効果は考えられない。この研究から因果関係を論じることができないが、これらの要因が影響している可能性はある。中間年齢層の日本人女性の上昇傾向からみて、卵巣がん死亡率の両国間格差は縮小していくと予想される。なお、韓国は、調査した国の中で最も死亡率が低かった反面、低・

児童虐待防止のための新しいプログラム

◆一般成人対象のプログラム

ケア・ギバーや、学校で行う生徒や教師を対象とした虐待防止プログラムは数多くありますが、教育や医療・福祉の専門家ではない一般人を対象としたものはほとんどありません。カナダ・アルバータ大学医学部精神科

の研究グループは、一般人のための啓発や虐待の発見と防止策に関する教育プログラムが極めて重要と考え、新しいプログラムを開発し、その効果を検証することにした。

「Prevent-it」(防止せよ!)と命名されたこのプログラムの特徴は、地域コミュニティから募集した一般成人十数人が実際にクラスルームを編成し、専門家のビデオ解説や虐待被害経験者のインタビュー映像を用いながら、司会進行役のフ

射精回数と前立腺がんのリスク

◆射精回数21回以上でリスク低下

学校の研究グループは、ハーバード公衆衛生大学の研究グループは、射精回数と前立腺がん発生のリスクとの関連性について研究しました。40歳以上の主に白人男性約3万人(医療従事者)を対象に実施された大規模コホート研究のデータを活用し、1か月間の射精回数(自慰を含む)を1992年、以降2年ごとに、2010年までの調査結果を分析しました。比較したのは、1か月間の射精回数が平均21回以上の男性と、平均4～7回の男性です。その結果、20～29歳の年齢で射精回数21回以上の男性は、同じ年齢で4～7回の男性に比べて、その後の前立腺がん発生リスク(ハザード比)が0.81。同様に、40～49歳の年齢で見ると0.78、全追跡期間では0.66と、リスクが有意に低くなっていました。

また、射精回数の多い男性は少ない男性に比べて、身体活動がより多い、性感染症に罹患した回数が多い、カロリー摂取と飲酒量が多い、さら



いつもは相談事例を題材にしていますが、今回は相談員さんご自身のことをお話しただきまし

20人ほど在席する相談員さんはそれぞれ資格、経験が異なります。それが相談に表れることもあり、本会電話相談の特徴であり良さなのだと思います。もちろん科学的な根拠に基づいてお話しし

ますし、思春期の子どもの力になりたいという思いは同じですから、個性がマイナスになることはありませんで安心ください。

思春期保健相談士として、オープンハウスの電話相談員になって、10年以上の月日が流れました。なぜ、思春期保健に携わろうと思ったのか、当時の自分を振り返ってみることにしました。

OPEN HOUSE

相談員の
リレーエッセー



ました。「避妊指導が、彼女の心に届いていない」。繰り返してほしくないという思いから「もっと」と、押し付け

数か月という短いスパンで、同じ方が中絶にいらつしました。そのとき、私は自分の対応には原因があるのではと思

るように話をしていたのです。自分では熱意をもって、一生懸命に指導したつもりになっていました。ポイントがずれていたのかもしれない。そんな経験から、女性の性をもっと勉強したくて、助産師の道へ進みま

した。そこで北村所長と出合い、相談員として在籍する今があります。電話相談は、一本のラインを通しての一期一会。顔が見えないからこそ、電話の向こうの声に集中して耳を傾けます。発せられる言葉は、表現もさまざまですが、何が不安をくみ取って、解釈し、確認し、アドバイスを送っていたらいいです。

か餌を食べなくなりまして。ヒトだつて外界に影響されやすい時期です。受験を控えた子どもたちもいます。バランスの良

は?」「児童虐待例を疑った回数?」「児童虐待を報告した回数?」などの質問の回答から効果を測ります。クラスルーム形式によるプログラムの効果は期待できる反面、費用が相

しているということです。また、今回の参加者の中で男性は全体の1割のみだったことから、男性にもっと参加してもらう方が検討されています。



侵襲性髄膜炎菌感染症(IMD)は、
発症から24時間以内に急変することもある重篤な疾患です。

詳しい情報は
こちらから

IMDについて相談できる医療機関を検索できます

よくわかる髄膜炎菌

検索

www.imd-vaccine.jp

サノフィ株式会社

〒163-1488
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

SANOFI PASTEUR

産婦人科医による性の健康教育「私のキーワードはこれだ!」その21

一つ、都市伝説打破 二つ、親・教師への教育

徳島大学医学部法医学教室(徳島県徳島市) 西條 良香

今なおまん延する都市伝説

現在、私は徳島においてフリーランスの産婦人科医と法医学領域での変死体の検案、ならびに性犯罪被害者の診察を行っている。一見すると共通点が見いだせないと思われるかもしれないが、これらは共に未来を創ることができる分野であり、

私は非常にやりがいを感じている。

1994年に大学を卒業し、地元徳島で産婦人科教室に入局した当初、科医と法医学領域での変死体の検案、ならびに性犯罪被害者の診察を行っている。一見すると共通点が見いだせないと思われるかもしれないが、これらは共に未来を創ることができる分野であり、



学会でのポスター発表の様子

しかし、翌年から勤務するようになった高知市立市民病院(現高知医療センター)での勤務医時代、望まない妊娠をしてしまい、中絶を選択せざるを得なかった多くの患者の診察を行った。患者の世代はさまざまであったが、彼女たち(そしてそのパートナーや親族ら)に共通していたのは、避妊や性感染症に対して、恐ろしいほど無知であり、また根拠のない自信があることだった。

医学教育も日進月歩であるが、子どもたちに教える内容も現実には沿っていない。子どもたちは、避妊方法もなかった。性行為について説明する必要がある。では、これを誰が行うのか? 本来であれば、親や教師がまず行うこと

性教育を引き受けるのは誰か?

近年は、SNS(ソーシャル・ネットワーク)の発達により、このような都市伝説がさらに溢れ返っている。都市伝説を打破するには、頭ごなしに否定するのではなく、

今月の人

西條 良香



趣味のバンドでベースを弾く西條氏

1994年、愛知医科大学卒。専門は、産婦人科と法医学。現在は、徳島大学医学部法医学教室非常勤講師を務めながら、フリーランスで産婦人科医、徳島県警嘱託医として変死体の検案などを行っている。デーモン小暮のファン。ハードロックとジャズのベースもプレイする。

運動指導に最適!

ポールウォーキングをはじめよう



近年、ポールウォーキングを体験できる健康教室を開く自治体などが増え、中高年を中心に、この運動の人氣が高まっています。

ポールウォーキングとは、専用のポールを両手に持って歩く運動で、通常のウォーキングに比べ、より多くの上半身の筋肉が使われます。さらに、



ジャフパ情報

ポールによって歩行の安定性が増し、歩幅が広がり、下半身もより強化されます。ポールウォーキングは、全身の約90%の筋肉が使用される効果的な有酸素運動です。

また、広い歩幅で歩くことで上半身と下半身をねじれが生じ、姿勢を支える体幹が強化されます。

皆さんも、どうぞ健康に気を付けて、良い年をお迎えください。(佐藤)

送付先の変更 購読中止について

新聞の送付先住所や宛名の変更、また購読中止の場合は、変更内容などをご連絡ください。

編集後記

2014年より定期接種となった水痘(水ぼうそう)は、2回の接種でほぼ100%予防できるそうです。わが家の子どもたちも受けていました。が、先日、娘がかかり

【参加費】

当日参加3千円(会員以外で当日参加希望の方は、必ず事前に電話またはファクスで問い合わせ)

【問い合わせ】

本会 03(3269)4727 FAX 03(3267)2658 ※年間予定は本会HP

1月の母子保健指導員研修会

【テーマ】「赤ちゃんとうちの接し方」

【講師】

清水悦子(赤ちゃんの眠り研究所代表)

【会場】

TKP市ヶ谷方

【日時】

平成28年1月10日

かしこく、正しく、自分らしく

あなたが選ぶ避妊スタイル

このサイトはOC(低用量経口避妊薬)や避妊についての正しい知識を身につけていただくことを目的としています。

<http://www.hinin-style.jp> 避妊スタイル 検索



MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア

2015年2月作成
MAV15AD003-0220